



# 市政NEWS

## 神戸市の物価高対策！

令和8年第1回定例会(2月議会)が、2月17日から3月27日まで開催され、当初予算に関して活発な議論が行われました。物価高騰が長期化し、食料品や光熱費など、日々の暮らしに直結する負担が増えています。どういった考え方で、神戸市は物価高対策に取り組むのでしょうか？



国の予算2兆円の内、本市への配分額は約110億円でした。神戸市では物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援として実施し、その対策は単なる一律給付ではなく、次の3つの考え方を重視したものです。

- 1 物価高騰の影響を勘案した支援**
- 2 一度きりではなく継続する仕組みへ**
- 3 公益性・社会的に重要な分野への支援**

### 学生や子ども食堂等への支援

- 学生支援  
市内高校・大学等の学生に対し、学食利用などに活用できる1人3,000円の支援を実施。
- 子ども食堂支援  
市内の子ども食堂へ神戸産米を年2回配送。
- 児童養護施設退所者などへ食料品等を配送。



### 様々な世帯への緊急支援

- フードサポートこうべの拡充  
各区での開催回数を大幅に増やし、全9区で年3回実施。
- コミュニティフリッジの設置・運営補助  
食料品を24時間受取可能な拠点(市内3か所)

### 市内事業者と連携した食支援

神戸市の基本姿勢は、一律の現金給付、一律の水道料金無料化、一律のクーポン配布といった手法は選ばず、本当に必要な方へ重点的に、時間的効果が続く仕組みをつくり、NPO・企業と連携する「オール神戸」で対応するという方針で取り組むことを確認し、賛成を致しました。

### 物価高は短期間で終わるものではありません。「一回限りの現金給付」ではなく、持続的に回る仕組みづくりを重視した支援です。

### 無料・安価な食料品の供給スキームの構築

- 食支援団体を支援する新たな拠点を設置(常温 KIITO、冷凍冷蔵 市内1か所)
- 食支援団体への支援拡大  
常温保管庫・冷凍冷蔵保管庫を新設  
食支援団体を21団体から32団体へ拡充  
団体への補助額も増額  
企業から寄附された食品を安定的に保管・配送し、継続的な支援を可能にします。
- フードロスロッカーの設置・利用促進  
主要駅等に設置(20か所)

### 市内事業者への支援

- 投資促進等助成、省エネ設備更新支援など  
家計支援と食品ロス削減を両立します。

個人消費を支える分野で、兵庫県からプレミアム付きデジタル商品券「はばたんPay+(ペイプラス)」の第5弾が発行されました。神戸市を含む全ての県民を対象に販売する「一般枠」で、プレミアム率は初めて50%に引き上げられました。1口5千円(7,500円相当)で4口まで申し込みができます。申込期間は、4月12日まで。利用期間は4月24日から7月31日まで。是非、申込みご利用ください。

### 地域社会を支える分野を守ることも重要です。

- 医療機関支援  
救急医療体制維持のため、市民病院機構への支援を増額。
- 社会福祉施設支援  
食費・光熱費高騰・処遇改善などへの支援を実施。
- 銭湯料金の負担軽減
- 事業者支援も強化  
生活を守るためには、地域経済を守ることも不可欠です。
- 中小企業の省エネ設備更新支援
- 医療・福祉施設支援
- 交通事業者への燃料費補助
- 農漁業者支援
- 観光振興支援
- 指定管理施設・工事事業者への支援

など、幅広く支援を行います。



【公式】はばたんPay+(プラス)第5弾 | ひょうご家計応援キャンペーンプレミアム付デジタル券

4月12日まで

HPコベカツに関する記事はこちら



## KOBE◆KATSU(コベカツ)(中学校部活動の地域移行)について

会派HPにて詳しい内容を掲載しております。



## 令和8年2月議会 3名代表質疑を行いました

※一部要旨

質疑者

平井 真千子



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

### 持続可能なまちづくりについて

新たな総合基本計画では「生活関連サービスを提供する市街地の比率を維持」という高い目標をかかげており、予算案ではその実行に向け、住宅地における店舗立地支援など既存市街地の人口流出を防ぐ施策が展開されている。これらの取り組みが効果的に進むためには地域ごとの課題に応じた施策をパッケージで実施することが重要だが、これから作成する「スポンジ化対策要綱」をどのように施策に活かすのか。

【小松副市長】まずは空き家が多く発生している現状や道路上検討の要因を分析した上で、必要な施策を体系化し、要綱として取りまとめる。その後、地域の特性に応じ、空き家対策や住み替え支援、地域の魅力の向上、住民サービスの維持、交通アクセスの改善などをパッケージにして取り組んでいきたい。スポンジ化対策を局横断的に取り組み、持続可能な都市を目指す。

質疑者

山下 てんせい



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

### 認知症神戸モデルの今後の在り方について

平成31年より全国初の制度として認知症神戸モデルを開始し、現行の第3期では、認知症新薬への対応や行方不明対策の実施等新たな取組を行う方針が示された。一方、先日提出された包括外部監査報告書で、これまでの成果と費用対効果を検証し、市民理解を得つつ財源確保に努めるべきとの意見が付された。そこで市内外、特に転入をお考えの方への啓発と理解の促進に取り組むべきと考えるがいかがか。

【久元喜造市長】認知症の人やその家族を社会全体で支えるという制度の趣旨を理解いただくため、出前トーク等で市職員が住民の皆様へ直接丁寧に周知を行う他、広報紙やホームページ、また認知症月間の9月にはデジタルサイネージやSNSなどを活用し広報を実施している。新しく入ってこられる方への理解を求めていくかは、なお工夫する余地があるかと思う。

質疑者

村上 たつま



▲令和8年2月24日(火) 本会議 代表質疑にて

### KOBE◆KATSUの円滑な実施のための施策について

生徒一人あたり月1,500円の支援を含むコベカツサポート・コベカツ支援基金の設置・移動支援実証事業・公共施設の利用料減免と優先利用など、我が会派の要望にお応えいただいたことを評価しているが、今後の課題は？

【福本教育長】令和8年9月開始予定のKOBE◆KATSUに向け、最大の課題であった活動団体の確保に取り組んできた。第3次募集までに約1,100クラブが登録され、多くの生徒が在籍校または近隣校で主要種目を選択できる状況が整いつつある。一方で、ニーズの高い種目では引き続き団体確保が必要であり、競技団体等と連携し対応していく。今後は生徒が円滑に移行できることが最も重要であり、教育委員会と学校が連携し、保護者への情報共有や個別の不安への丁寧な対応を進め、安心して参加できる環境づくりを進めていく。

## 令和8年3月12日 総括質疑

※一部要旨

### 1 観光施策の都市間連携

答弁…久元喜造市長

【吉田】神戸空港は、神戸以西の観光需要の喚起が目的の1つとして国際化された。岡山市や広島市をはじめとする、11都市の議会で構成される「瀬戸内地域の観光を推進する市議会議員連盟」が設立されたことを契機に、より一層の都市間連携で神戸空港をハブとした周遊プランの造成に取り組むべき。

【答弁】瀬戸内観光議連の発足を受けて岡山市と広島市を訪問し、観光の状況や広域連携の取り組みについて意見交換を行い、今後とも広域連携の観点から連携を進めることを確認している。陸・海・空の交通の結節点として、アクセス利便性の高い神戸が瀬戸内地域のゲートウェイとして主体的な役割を果たすとともに、各都市との連携の下、瀬戸内地域のプロモーションと周遊促進に取り組む、さらなる観光誘客につなげていきたい。

### 2 小学校給食無償化を契機に充実を

答弁…福本教育長

【吉田】内容の充実として、地産地消やオーガニック食材活用の取組など、質の充実についての質疑に対して、当局からは多様な食材を使い、子どもたちの楽しみとなる魅力ある献立づくりに取り組むとの答弁があった。子どもたちが満足できる量の充実も重要であると思えるが見解を伺う。

【答弁】学校給食は文科省基準に基づき栄養量を確保して提供している。先生の裁量で欠席者分の余りを希望者に配分し、量調整可能な献立も増減対応しているが、残食率は約4%あり課題となっている。今後も成長期の子供の健康を踏まえた対応が必要である。

### 3 学習用端末のiPadへの更新

答弁…福本教育長

【吉田】より良い学習効果が期待されるiPadの導入を、我が会派から提案してきた。導入されたiPadは直感的な操作、デジタルペンによる書き込み、性能が向上したカメラが利点だが、これらの効果を最大限に発現させる学習方法の確立が求められる。

【答弁】タブレットは一斉型中心の授業から、個別最適な学びと協働的な学びへの転換を図る重要な基盤。次年度からは生成AIの活用も始まる。記述問題が豊富なデジタルドリルの導入も進め、学習用タブレットと併せた新たなコンテンツを活用し、授業・家庭学習を充実させていきたい。



▲令和8年3月12日(木) 予算特別委員会 総括質疑にて



※各議員の2次元コードより、自民党プロフィールサイトをご覧ください。

**灘区** **浅井 みか**

tel.080-5818-4408 fax.078-322-5548  
asaimika.kobe@gmail.com  
副政調会長

▲令和8年3月5日(木) 予算特別委員会 教育委員会審査にて

**神戸の強みを世界へつなぐべき**

神戸の強みを世界につなぐ、外貨を稼ぐ都市戦略を進めるべきだと質しました。昨夏、米国国務省に神戸市会議員として招聘され渡米し、23カ国の各国代表の一人として神戸の発展につながる意見交換を行った経験も踏まえ、神戸の真珠産業や登山観光の発信、中小企業や個人事業者の海外展開支援、輸出強化に加え、世界を目指す教育環境の充実も求めました。

**北区** **うえなか 雅子**

tel.078-583-8060 fax.078-583-4696  
uenakamasako8060@blue.ocn.ne.jp

▲令和7年9月17日(水) 決算特別委員会 都市局審査にて

**都心・三宮再整備における障がい者対応について**

都心・三宮再整備において、新バスターミナルやJR新駅ビル等々の工事が進められている。工事期間中の歩行者動線は日々変更され、様々な障がいを抱える方々は困っている。車椅子利用者やパーキンソン病等々の方からは、看板は下に設置した方が見やすいとの意見もある。事前周知や案内看板の設置の際には、障がいを抱える方々にも情報が届くよう工夫する必要があるのではないか。

**垂水区** **しらくに 高太郎**

tel.078-704-6060 fax.078-709-5252  
kobejimshirakuni@gmail.com  
副幹事長

▲令和8年3月5日(木) 予算特別委員会 教育委員会審査にて

**祝日の由来や意義を学ぶ必要があると考えるが、指導は？**

[教育次長答弁] 小6社会では国会の働きと関連付け、祝日が法律で定められていることやその意義について指導している。それ以外でも、道徳科で思いやりや家族愛などを扱う題材だと敬老の日であったり、勤労や責任を扱う題材だと勤労感謝の日と関連付けるなど、その都度触れている。更に、祝日前の集会やHRなどでも発達段階に応じて関心を深める機会を設けるよう努めている。

**東灘区** **うへはた のりひろ**

tel.078-322-5846 fax.078-330-0239  
uehata.kobe@gmail.com  
幹事・広報

▲本会議において一般質問を実施

**負の遺産 神戸港の「非核神戸方式」が遂に終焉！**

50年前に決議された非核神戸方式は、米軍艦船の入港を妨げ、阪神淡路大震災時に米軍支援を受けられない一因ともなりました。私は決議に法的拘束力がないことや核搭載の実態を明らかにし、港湾局にも米軍の立場を説明してきました。昨年、米軍は非核証明書なしで入港し、本方式は事実上終了。口だけのイデオロギーではなく日本国民たる神戸市民の生命を最優先に取り組みます。

**中央区** **河内 忠和**

tel.078-806-8633 fax.078-806-8653  
kobe.kawanami@gmail.com  
幹事長

▲令和8年3月6日(金) 第2分科会 (危機管理局・消防局)にて

**阪神高速京橋インター出口から税関前への渋滞対策を！**

京橋インター出口から税関本庁前交差点までの渋滞について、車線の使われ方に偏りがあると指摘。直進車を中央車線に集中させないように、左折専用車線を直進にも活用する社会実験の提案をしました。神戸市からは、警察の交通処理等への懸念も聞いているが、社会実験による効果検証の可能性に触れ、警察や国土交通省、阪神高速など関係機関と連携し検討していく、との答弁を引き出しました。

**北区** **うえなか 美貴子**

tel.090-7756-0610 fax.078-322-6164  
mikiko.uenaka.1106@gmail.com

▲令和8年3月9日(月) 予算特別委員会 健康局審査にて

**在宅医療の充実に向けた、医療と介護の連携強化について**

医療機関と介護機関を結ぶ要となる「医療介護サポートセンター」において、両機関の豊富な情報を的確に把握し、急変時の往診や入院時のマッチング等、双方への情報提供が積極的に行われることが望まれます。その為に双方へのセンターの周知徹底、併せて多職種会議や研修を重ねることで、在宅医療に安心して臨める支援体制の一層の強化を要望しました。

**西区** **坊池 正**

tel.078-965-0400  
bouike@nifty.com

▲令和6年9月27日(金) 決算特別委員会第3分科会 ども家庭局審査にて

**農村地域の安全・安心づくりを！**

元消防吏員・兼業農家としての知見を活かして、防災減災、消防隊の体制強化、また神戸産農産物のブランド化やスマート農業の推進棟、市内農業の活性化についてなど提言してまいりました。

**東灘区** **大野 陽平**

tel.078-851-6996 fax.078-854-2300  
yoheiohno11@gmail.com  
副政調会長

▲令和7年9月17日(水) 予算特別委員会 ども家庭局審査にて

**ケアラーバーなど若者の孤立防く支援拠点開設！**

児童養護施設などで育ったケアラーバーや、家庭内での虐待などにより、親族からの支援を受けられない若者の中には、進学・就職・住居・生活面で困難を抱えた際に頼れる相手が少なく、犯罪に巻き込まれるケースも指摘されています。孤立を防ぐ支援の必要性を質疑・提案しておりましたが、令和8年度予算に相談や交流ができる支援拠点を市内に新設することが盛り込まれました。

**兵庫区** **平野 たつじ**

tel.078-531-8780 fax.078-531-5301  
th.tatsuji.hirano@gmail.com  
副幹事長

▲令和8年3月4日(水) 予算特別委員会 経済観光局審査にて

**市場・商店街のブランドと技術の承継をどう支援するか**

[大畑局長答弁] 商店街や小売市場では、高齢化や後継者不足により店舗の廃業が増加。地域に根付いた技術やノウハウが失われることは大きな課題と認識。神戸産業就労支援財団と連携し、事業の可視化や承継準備、後継者とのマッチング支援に取り組む。今後も商店街や市場の組合・連合会と連携し、地域資産の承継という観点も踏まえながら事業承継を丁寧に支援していきます。

**長田区** **平井 真千子**

tel./fax.078-643-0647  
machiko.h@earth.ocn.ne.jp  
団長

▲令和8年3月3日(火) 予算特別委員会 交通局審査にて

**新長田駅の拠点性向上や、若松公園・駅前広場の再整備など、地域課題について質疑**

局別の予算審議では、地域の課題解決の視点を多く取り入れながら質疑を行いました。[交通局] ●長田駅の拠点性を低下させないバス路線再編 ●バスの経営改善のための需要創出 [都市局] ●都心再整備における緑化計画 ●新長田駅前広場と若松公園の再整備の検討手法 [建築住宅局] ●管理不全空き家等への指導強化 ●住宅の耐震化支援等について

**西区** **山口 由美**

tel./fax.078-777-6933  
yamaguchi@yumiguma.com  
幹事・会計

▲令和8年2月26日(木) 予算特別委員会 福祉局審査にて

**西区6歳児虐待死事件後の福祉行政について**

[山口] 事件の被告人たちは、本来支援を受けるべき人たちでした。福祉局の受け止めは？ [福祉局長] 痛ましい事件が2度と繰り返されないよう、行政や支援機関、地域の住民とともに、子どもと家族を見守り、支えることのできる地域を作っていかなければならないと思っています。

**灘区** **吉田 健吾**

tel.078-861-5566 fax.078-861-3456  
gogo@yoshidakengo.jp  
政調会長

▲令和8年3月4日(水) 予算特別委員会 都市局審査にて

**HAT神戸※の活性化策としてアクティブ軸の充実を** ※HAT神戸の起源は「Happy Active Town」

[吉田] ミュージアムロードの文化軸に対して、アクティブ軸もまちづくりの柱に。[都市局長] HAT神戸は、スポーツ施設やハーバーウォークのランニングコースなどスポーツ環境が充実した地域であり、アクティブを軸としたまちづくりが重要。通年型アイススケートリンクの活用や、プロチームと連携した体験機会の創出、ランニング環境の向上などを通じ、スポーツを切り口とした活性化に取り組んでいく。

**兵庫区** **村上 たつま**

tel.078-599-7760 fax.078-336-3572  
murakami.tatsuma@gmail.com

▲令和8年3月2日(月) 予算特別委員会 港湾局審査にて

**神戸空港国際線エリアにおける今後の拡張整備は？**

[空港担当局長答弁] 2030年の国際定期便受入れを目標に、神戸空港第2ターミナルの拡張や機能強化を検討している。エプロンは運用の工夫により駐機スポットを15から17に増やし対応する見込み。一方、ターミナルは南側へ拡張し、ボーディングブリッジ整備や出国審査場・カウンター増設などを行い、利便性向上と受入れ環境整備を進める。関係者と協議しながら検討を続ける。

**須磨区** **松本 しゅうじ**

tel.078-795-9069 fax.078-795-9090  
matsujimin2@gmail.com

▲令和8年3月5日(木) 予算特別委員会 水道局審査にて

**管路情報管理システム更新とサイバーセキュリティ対策を！**

国は、危機管理投資の強化を掲げており、水道は命に直結する基幹インフラであり、管路情報管理システムの更新については、災害時の断水影響範囲の予測等に貢献できる一方で、配水池や基幹管路などの情報は、テロの標的にもなりかねない。現場から新システムを閲覧する機能を設ける予定だが、現場での紛失や、情報漏洩が起きないよう細心のセキュリティを図るよう提案した。

**西区** **山下 てんせい**

tel.080-5341-3710 fax.078-961-3849  
https://www.yamashita-tensei.com  
監査委員

▲令和8年2月24日(火) 予算特別委員会 代表質疑にて

**神戸市の財政力強化のために提言**

会派を代表し、公共交通(地下鉄・市バス)の経営改善のため「交通広告収入が財務体制強化に資する水準になるよう、広告出稿に係るメディアガイドの改良や営業力強化」を、また認知症神戸モデルが持続可能な制度となるよう「成年後見制度における本人申立に関する啓発を進めるとともに、市長申立に係る体制の強化を図ること」等を提言しました。